

## 考察レポート作成方法

※出来なかった問題のみで良い。特に最初から何をして良いかわからなかった問題に関しては次の注意事項に気を配りながら作成してください。

～作成上の注意～

- ・出来なかった問題に対して、『自分がなぜ出来なかったのか？』を明確にすることが大事！下の例のように。。。

例

求める実数を  $a$  とする。 $a \geq 0$  より、

左辺が絶対値なので、右辺の  $a$  はこの範囲にならないといけない！

など、ただ解答を見て『へえ、こうなるのかあ』で終わるのではなく、『なぜ』求めようとした値がこの範囲なのか、『なぜ』わざわざ解答に書いてあるのか、逆に書いて無くて良いのか、書かなければ減点の対象になってしまうのか。特に出来なかった問題に対しては、『次に(入試本番で)同じような問題が出たときに出来るようになっていること』が必要です。

- ・問題文の『大事な条件』を見逃さない！例えば整数、自然数、有理数、無理数、

実数、正負、1次方程式、2次不等式、0でないときなど、パッと見はそれ程大事に見えないが『今この問題は、どの範囲で話されているのか』がわかってないと解けないなど、『この問題の叫び声(キーポイント)』はどこなのかを読み解き、自分の言葉で書いてみてください。特に数学という教科は、『問題に書いてある条件は必ずどこかで使う』はず、使わない条件は書いていません。それを見抜く練習だと思って作ってみてください。

以上のことをしっかりと理解し作っていただければ、他に細かい書き方等は各自にお任せします。もし心配なら、『同級生がそのレポートを読んだときに、その同級生が理解できる』ようなレポートを、自分なりに作ってみてください。

色をこだわったり、わざわざイラストを描いたりなどする必要はありません。こだわり過ぎて他教科の課題を疎かにしないようにだけ気をつけてください。